

土木建築委員会 県内所管事務調査の概要

【平成27年6月4日（木）】

◆調査箇所：大分県地域づくり機構、大分県建設技術センター

＜概要＞

大分県地域づくり機構の住宅分譲、県営・市営住宅管理、公有地取得事業、土地造成などの事業について説明を受けた。

大分県建設技術センターの設計業務、積算補助、工事施工監理、技術指導研修、材料試験などの業務について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・ 県営、市営住宅等の耐震補強について
- ・ 流通業務団地の維持管理費用について
- ・ 新たな知識取得のための研修の実施について

◆調査箇所：大分土木事務所

＜概要＞

大分土木事務所における職員配置、管内（大分市、由布市）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、庄の原佐野線の整備促進をはじめとする大分市からの要望書について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・ コンビナートの津波対策について
- ・ 急傾斜事業の要望状況について
- ・ 国道197号線拡幅事業に伴う新設橋について

◆調査箇所：大在大分港線橋梁補修事業・弁天大橋（大分市大津町）

＜概要＞

大在大分港線は緊急輸送道路に指定されており、弁天大橋は築43年を経過し老朽化の懸念があるため、災害時に備えて耐震補強を行う必要がある。

このため橋脚部の取替工事や、橋台部の落橋防止工事を行うことで、通行の安全確保を図ることとしており、工事完了は平成27年度末を目標としている。



＜主な質疑等＞

- ・ 総事業費について
- ・ 管内の橋の耐震補強の状況について

◆調査箇所：都市計画道路庄の原佐野線街路改築事業（大分市大分）

<概要>

庄の原佐野線は地域高規格道路「大分中央幹線道路」に指定されており、大分市内の東西を結ぶ骨格軸となる道路で、大分川架橋部における慢性的な交通渋滞の緩和などに期待がされている。

事業認可期間は平成22～28年度で、今年度は測量調査や橋梁上部工事を実施する予定である。



<主な質疑等>

- ・国道10号線の立体交差化について
- ・文化財調査による工事進捗への影響について
- ・米良バイパスまでの延伸工事の事業化について

◆調査箇所：大分川火山砂防事業（由布市湯布院町）

<概要>

湯布院町川上にあるこの地域では平成19年の台風で土砂被害が発生し、今後も不安定な土砂層による被害が想定されているため、平成21～28年度にかけて砂防ダム等の工事が行われており、その状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・工事の入札の状況について
- ・県道橋下の流量について

◆調査箇所：別府土木事務所

<概要>

別府土木事務所における職員配置、管内（別府市、杵築市、日出町）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、県道別府挾間線の整備促進をはじめとする別府市、杵築市、日出町からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・山田関の江線の用地買収の進捗について
- ・急傾斜地崩壊危険箇所の整備の進捗率について
- ・空港道路の4車線化について

◆調査箇所：別府港重要港湾改修事業等・北浜地区（別府市北浜）

<概要>

別府港における小型船舶の係留施設の不足を解消し、港内の安全性向上を図るため、北浜地区にヨットハーバー等の整備を行っている。

平成27年度は防波堤の整備を実施する予定であり、その進捗状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・消波ブロックの設置時期について
- ・起重機船の使用について

◆調査箇所：別府挟間線道路改良事業・浜脇工区（別府市浜脇）

<概要>

別府挟間線は別府市と由布市を結ぶ主要地方道であり、国道10号の災害時に緊急の代替機能を持つ道路として期待されている。平成5年度から第1期計画の工事が行われており、現在の第2期は平成10年度から実施中である。

平成27年度は、橋梁上部工や舗装工が行われる予定であり、その状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・JRとの工事分担と費用について
- ・施工業者について

【平成27年6月11日（木）】

◆調査箇所：床木海崎停車場線道路改築事業・新八明トンネル（佐伯市海崎）

<概要>

佐伯市の海崎地区から東九州自動車道や国道10号に連絡する重要なバイパスルートであるが、峠やトンネル区間が狭く、交通の難所となっている。このため全体延長1,240mにおいて車道拡幅、トンネル、線形改良を行っており、その進捗状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・国道217号線側の事業開始について
- ・トンネル工事の工法について
- ・現在の交通量について

◆調査箇所：佐伯土木事務所

<概要>

佐伯土木事務所における職員配置、管内（佐伯市）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、重要港湾佐伯港の港湾整備事業の促進をはじめとする佐伯市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・急傾斜崩壊対策事業の要望状況について
- ・浦代第2トンネルの老朽化対策について
- ・東九州自動車道の4車線化について

◆調査箇所：三重弥生線道路改良事業小半工区・仏座トンネル（佐伯市本匠）

<概要>

宇目・本匠・弥生・佐伯市中心部における地域間の交通アクセスの向上のため改良工事を行っている路線。

幅員狭小、線形不良、落石危険箇所などの解消を順次進めているが、当工区にある仏座トンネルは高さ制限3mで大型車両が通行出来ず大きな支障を生じているため既設トンネルの山側にバイパスを設けることとしており、その状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・事業の進捗状況について

◆調査箇所：急傾斜地崩壊対策事業・宮園地区（佐伯市弥生）

<概要>

宮園地区は、人家37戸、知的障害者援護施設、集会所、市道等を含み、急傾斜地に隣接している。ここでは平成16年10月に斜面崩壊が発生しており、土砂災害発生危険性がある。

平成23年度から平成32年度にわたって災害対策工事を行っていることから、その進捗状況の調査を行った。



<主な質疑等>

- ・用地買収の状況について
- ・地権者の人数について

◆調査箇所：国道217号道路改良事業平岩・松崎バイパス（津久見市上青江）

<概要>

津久見市の市街地を通る国道217号線は、歩道が狭く、線形不良や変則的な交差点があり、地域住民の安全な通行に支障をきたしている。このため市街地にバイパスルートを建設することで、時間短縮と安全性向上の効果が期待されている。

平成22年度から事業着手しており、27年度も引き続き用地買収を進め、青江川の橋梁下部工を実施する予定である。



<主な質疑等>

- ・今年度の事業内容について
- ・JRへの工事委託について
- ・補償物件の有無について

◆調査箇所：臼杵港港湾整備事業（臼杵市板知屋）

<概要>

地方港湾である臼杵港はフェリー基地としての重要性から、平成15年度から下り松地区に新たなフェリーバースを建設しており、平成19年度からは護岸・防波堤工事も行っており、27年度も引き続き工事を実施しており、その状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・防波堤の工法について
- ・フェリー泊地の整備内容について
- ・物流拠点としての臼杵港の役割について

◆調査箇所：臼杵土木事務所

<概要>

臼杵土木事務所における職員配置、管内（臼杵市、津久見市）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、一般県道「大泊浜徳浦線」の整備促進をはじめとする臼杵市、津久見市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・庁舎の津波対策想定について
- ・臼杵港整備に係る埠頭利用計画について
- ・振興局との事業連携について

【平成27年6月12日（金）】

◆調査箇所：豊後大野土木事務所

<概要>

豊後大野土木事務所における職員配置、管内（豊後大野市）の概況、道路、河川、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、「三重新殿線バイパス」の整備促進をはじめとする豊後大野市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・道路改良率の向上について
- ・三重新殿線の進捗状況について
- ・ジオパークに関する取り組みについて

◆調査箇所：三重新殿線バイパス道路改良事業・内田工区（豊後大野市三重町）

<概要>

本路線は、中九州横断道路千歳ICと、豊後大野市中心部及び国道326号を南北に連結する延長約10kmのバイパス道路で、平成10年度から事業着手している。

計7工区のうち現在まで3工区が共用されており、この内田工区は引き続き用地取得完了と工事の進捗を図る予定である。



<主な質疑等>

- ・用地買収の進捗について
- ・牟礼前田工区の橋梁の長さ及び形式について

◆調査箇所：大無礼川通常砂防ダム事業（豊後大野市三重町）

<概要>

三重町伏野の当地区には、避難地に指定されている公民館1戸をはじめ、家屋8戸や県道、市道があり、これらを土石流から守ることを目的として、平成24年度から砂防ダム工事に着手している。

平成26年度は市道橋1橋の架け替えが完了し、平成27年度は砂防ダム本体の工事進捗を図ることとしている。



<主な質疑等>

- ・砂防ダムの高さについて
- ・流路工の構造について
- ・事業の完成時期について

◆調査箇所：竹田土木事務所、玉来ダム建設事務所

<概要>

竹田土木事務所における職員配置、管内（竹田市）の概況、道路、河川、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

玉来ダム建設事務所における職員配置、ダム建設事業の進捗状況について説明を受けた。

また、玉来ダム建設事業の促進をはじめとする竹田市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・土木事務所の主要事業の事業費と供用予定時期について
- ・玉来ダムの全体事業費と工期について
- ・ダム協議会の要望状況について

◆調査箇所：大野川総合流域防災事業・岩本地区（竹田市岩本）

<概要>

当地区では平成24年7月の豪雨災害で浸水面積12ヘクタールの甚大な被害を受けた。このため、平成24年度から総合流域防災事業を実施して浸水被害の解消を図っている。

本事業では延長1,700mにわたって河川改修を実施しており、平成27年度は引き続き当地区の胸壁及び河床掘削工事を進めることとなっており、その状況調査を行った。



<主な質疑等>

- ・排水の構造について
- ・胸壁の高さの根拠について
- ・被害確率について

◆調査箇所：竹田水害緊急治水ダム建設事業・玉来ダム（竹田市川床）

<概要>

竹田市で度重なる被害を生じさせている玉来川の治水ダムとして計画されている玉来ダムについては、水文・環境調査を継続的に実施しており、平成26年度から詳細設計及び施工計画を策定している。

平成27年度も引き続き用地取得を進め、転流工事等を行っていくこととされており、その状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・出水期における工事について
- ・ダムの基礎岩盤の構造について
- ・管理用道路の土砂堆積について

◆調査箇所：阿蘇くじゅう公園線道路改良事業・沢水工区（竹田市久住町）

<概要>

主要地方道「庄内久住線」から国道442号に至る当路線の沢水工区は5.34kmのうち、2.61kmの区間に芝歩道を整備し、雄大な自然環境を楽しんで歩くことができるようになっている。

この維持管理については地元の協議会と協定を結んでおり、地域住民と一体になった道路づくりの好例として、現況を調査した。



<主な質疑等>

- ・管理費用の分担について
- ・芝管理の年間費用について
- ・芝の種類について

【平成27年6月17日（水）】

◆調査箇所：国道500号道路改良事業・檜本工区（宇佐市安心院町）

<概要>

当路線は別府市から繋がる広域交通の重要路線であり、宇佐別府道路が通行止めになった際の代替路線の機能も持っているが、線形不良や歩道の未整備などで安全な交通に大きな問題を抱えている。

これを解消するため線形改良、新橋梁建設を行うこととしており、平成28年度の完成を目指して用地買収や橋梁工事が進められている状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・工法コストの比較検討について
- ・周辺の歩道整備について
- ・護岸形状について

◆調査箇所：宇佐土木事務所

<概要>

宇佐土木事務所における職員配置、管内（宇佐市）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、館川の拝田橋上流域における浸水対策の事業促進をはじめとする宇佐市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・宇佐国見道路の要望状況について
- ・駅館河障害防止事業の事業費について
- ・国道500号の整備計画について

◆調査箇所：山国川床上浸水対策特別緊急事業（中津市耶馬溪町）

<概要>

平成24年7月の九州北部豪雨災害において甚大な浸水被害を被った山国川流域において、平成25年度から概ね5年間、10.2kmの区間で河道掘削、築堤、橋の改築等が集中的に実施されている。

そこで耶馬溪町大島地区において、工事の進捗状況の調査を行った。



<主な質疑等>

- ・被害確率に応じた改修計画について
- ・前後区間の改修川幅について

◆調査箇所：中津日田道路道路改築事業・耶馬溪道路（中津市耶馬溪町）

<概要>

中津港から日田市までを結ぶ計画の中津日田道路は、延長約50kmの地域高規格道路で、大分自動車道や東九州自動車道と連結し、広域の循環ネットワークを形成する効果が期待されている。

このうち耶馬溪道路は延長区間の中心部の5kmであり、計画では急峻な地形を通るため区間の約6割をトンネルが占め、橋梁も多くなっている。



<主な質疑等>

- ・掘削ずりの処理方法について
- ・トンネル勾配について
- ・完成の目標年度について

◆調査箇所：中津土木事務所

<概要>

中津土木事務所における職員配置、管内（中津市）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、地域高規格道路中津日田道路の整備促進をはじめとする中津市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・中津三光道路の大型車の通行について
- ・三光本耶馬溪道路の完成目標時期について
- ・東九州道開通に伴う交通状況について

【平成27年6月18日（木）】

◆調査箇所：国道212号道路改築事業・日田山国道路（日田市三和）

<概要>

日田山国道路は山国から日田間を結ぶ無料の自動車専用道路で、中津日田道路（約50km）における日田側終点に位置し、約8.5kmが平成27年度から整備区間に指定され、今後測量調査等が行われる予定である。

整備効果として移動時間の短縮、冬期の凍結事故対策、災害時の交通確保などが期待されている。



<主な質疑等>

- ・トンネルの箇所数について
- ・中津日田道路の開通見込み状況について
- ・現道（国道212号）の活用について

◆調査箇所：有田川河川激甚災害対策特別緊急事業（日田市東有田）

<概要>

平成24年7月の北部九州豪雨災害において甚大な浸水被害を受けた日田市の有田川では、「激甚災害対策特別緊急事業」の認定を国から受け、平成24年度から5年間にわたって河道掘削、築堤、護岸、橋梁改築等が集中的に行われており、その進捗状況の視察を行った。



<主な質疑等>

- ・新橋の設置位置について
- ・新橋の構造について
- ・周辺の戸数について

◆調査箇所：都市計画道路丸山五和線街路改良事業・中釣工区（日田市庄手）

<概要>

日田市の中心街を南北に通す丸山五和線は、市街地の交通渋滞緩和や安全性確保のために大きな役割を果たすことが期待されている。

国道386号線から210号線に至る延長約2.5kmのうち中ノ島、亀川、三隈橋工区について国の事業認可が下りており、中釣工区はその中心部にあたる650mについて平成28年度までに工事を行う予定である。



<主な質疑等>

- ・買収用地の種類について
- ・予想交通量について
- ・事業期間について

◆調査箇所：日田土木事務所

<概要>

日田土木事務所における職員配置、管内（日田市）の概況、道路、河川、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、有田川河川激甚災害対策特別緊急事業の促進をはじめとする日田市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・国道212号線の用地買収の状況について
- ・九州北部豪雨災害の廃工箇所の状況について
- ・県境における熊本県との連携について

◆調査箇所：菅原戸畑線道路改良事業・慈恩の滝工区（玖珠町山浦）

<概要>

国道210号線沿いの慈恩の滝周辺は、年間3万人以上の観光客が訪れるにも関わらず車両の受け入れ等に十分なスペースがなく、地域資源を活かしきれていない。

このため、駐車場とトイレを整備し、冬期のチェーン脱着場も兼ねた道の駅とする計画である。



<主な質疑等>

- ・駐車場の整備内容について
- ・交差点の構造について

◆調査箇所：玖珠土木事務所

<概要>

玖珠土木事務所における職員配置、管内（九重町、玖珠町）の概況、道路、河川、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業の促進をはじめとする九重町及び玖珠町からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・災害復旧事業の残工事について
- ・防衛省関連の事業内容について
- ・九重吊橋付近の道路改良の状況について

◆調査箇所：飯田高原中村線道路改良事業・河内2工区（九重町町田）

<概要>

飯田高原中村線は、別府一の宮線から九重ICまでを結び、地域住民の生活道路として、また観光道路として重要である。当該工区の周辺は玖珠川に沿って急峻な地形を通るため危険性が高く、大型観光バスの通行に支障をきたしている。このためバイパス道路を新たに作り、地域住民と観光客の安全な交通を確保できることが期待されている。



<主な質疑等>

- ・交差点の構造について
- ・用地買収の状況について

【平成27年6月24日（水）】

◆調査箇所：豊後高田土木事務所

<概要>

豊後高田土木事務所における職員配置、管内（豊後高田市）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、一般国道213号香々地・真玉バイパス事業の整備促進をはじめとする豊後高田市からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・高規格道路（豊後高田線）の整備構想について
- ・宇佐国見道路の要望状況について
- ・桂川河川改修事業の完成目標時期について

◆調査箇所：桂川広域河川改修事業（豊後高田市小田原）

<概要>

2級河川である桂川の中上流域は河積が小さく、水害氾濫の常襲地帯となっており、老朽家屋等の流出による交通途絶等が危惧されている。

そこで平成2年度から河川改修事業を進めており、環境保全を図りながら治水の向上を図っている。

平成27年度は小田原地区において掘削、護岸工事を施工する予定であり、その現状を調査した。



<主な質疑等>

- ・改修計画を想定する災害規模について

◆調査箇所：新城山香線道路改良事業・梅ノ木工区（豊後高田市梅木）

<概要>

当該路線は幅員狭小で離合困難な箇所が多く、線形不良もあって観光バスや地域住民の安全な交通に支障をきたしているため、平成30年度を目標としてバイパス道路（587m）の建設を進めており、その進捗状況について調査を行った。



<主な質疑等>

- ・大型クレーンを使用した工法について
- ・トンネルの整備計画について

◆調査箇所：国道213号交通安全事業・大熊毛工区（国東市国見町）

<概要>

国道213号線は別府市から国東半島を巡り中津市までを結ぶ県北の主要ルートであり、観光、生活路線として重要な役割を持っているが、一部区間で歩道が未整備で、線形不良によって安全性に支障を生じている。

このため、歩道の整備、線形改良、譲り斜線の整備等を平成23～27年度にわたって実施しており、その状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・交通量について
- ・歩道の利用状況について
- ・事業完了時期について

◆調査箇所：国東土木事務所

<概要>

国東土木事務所における職員配置、管内（国東市、姫島村）の概況、道路、河川、海岸、港湾、砂防など各事業に関する整備・管理状況及び平成27年度事業の概要について説明を受けた。

また、武蔵川河川改修事業の促進をはじめとする国東市及び姫島村からの要望書について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・武蔵川総合流域防災事業の完了時期について
- ・急傾斜地整備に関する市町村要望の状況について
- ・国東港の整備、活用方法について